

現状・課題と計画施策のつながり

現 状（*は再掲）	課 題	方 針	目 標	施 策
家庭系ごみ（特に燃やせるごみ）の増加	ごみとなるものの大量生産・大量消費	排出抑制計画	1. ごみの発生抑制と減量の推進	①ごみの発生抑制と減量方策の展開
一般廃棄物会計基準未導入	ごみ処理経費の削減が必要、処理費用に関する事項（ごみ手数料改定時期の見極め、財源の使途明確化が必要）			②粗大ごみの発生抑制
粗大ごみの増加（ライフスタイルの多様化、家具等の買替増加等）	粗大ごみのリユースの取組が必要			③エコショップの推進
エコショップ制度の評価項目に社会情勢にあった取組が不足	エコショップ制度の見直しが必要		2. ごみ適正処理に向けた分別の徹底	①家庭系（収集）ごみの分別の徹底
家庭系（燃やせる/燃やせない）ごみへの資源物の混入	分別（小型家電・金属等、古紙、ペットボトル、剪定枝等）の推進が必要			②事業系（持込）ごみの分別の徹底
事業系ごみへの資源物、禁止物の混入	事業系ごみに関する事項（適正分別・資源化の推進、排出指導の徹底が必要）		3. 資源の有効利用	①資源の有効利用に向けた資源回収
家庭系燃やせないごみへの小型家電・金属類の混入、燃やせるごみへの紙類の混入、剪定枝持ち込み量が横ばい傾向	小型家電・金属等の再資源化、古紙の適切な排出、みどりのリサイクルに関する事項（周知の徹底、利用方法等拡大）			②粗大ごみ等の再利用
粗大ごみの増加（ライフスタイルの多様化、家具等の買替増加等）*	粗大ごみのリユースの取組が必要			③焼却灰リサイクル
中間処理施設の老朽化（再掲）	社会・地域の要請（最終処分場の長期活用、焼却灰のエコセメント化の継続）			④リサイクル活動の支援
集団回収量の減少	集団回収の拡大		4. 食品ごみの削減	①生ごみの減量と堆肥化の促進
水切り、ダンボールコンポスト等の推進を実施	生ごみに関する事項（水切りの徹底・堆肥化の推進が必要、食品ロス削減に向けた意識の向上必要）			②生ごみの資源化
燃やせるごみに手付かず食品や食べ残しが混入				③食品ロス対策
使い切り、食べきり等の啓発実施				5. プラスチックの削減
社会情勢の変化、多摩市プラスチック削減方針の策定	無料配布プラスチック製品削減の啓発		②プラスチックのリサイクルの推進	
ペットボトル収集量の増加	ペットボトルの適切な排出		③プラスチックの適正な分別	
製品プラスチックの選別、資源化の実施		収集・運搬計画	①分別区分と収集方法の見直し	
70代以上の人口が増加	超高齢社会への対応（ごみ出し困難者、在宅医療廃棄物対策）		②ごみ排出方法の徹底	
充電式電池の普及、収集車や施設での発火・火災事故増加	処理しにくい新たなごみの出現（充電式電池の回収が必要）		③不法投棄の防止	
集積所でのごみの不法投棄（地域外、分別していないごみ等）発生	ごみの適正排出や分別に対する意識の向上が必要	中間処理計画	①中間処理施設における安全で安定した処理の維持と次期施設整備に向けた準備	
中間処理施設の老朽化*	中間処理施設に関する事項（施設整備、機能の見直し）の検討必要		②資源の効率的な再利用化の促進	
多摩清掃工場の施設老朽化対応の基本方針、資源化センター長期総合計画の策定			最終処分計画	①最終処分場の長期活用
資源化センターでの処理実施	効率的な中間処理の維持	②エコセメントの利用促進		
最終処分場を保有せず、広域処理を実施	社会・地域の要請（最終処分場の長期活用、エコセメント化の実施継続）	ごみ減量化・資源化のための組織活動・協働の取り組み		①廃棄物減量等推進員
エコセメントの継続実施			②廃棄物減量等推進審議会	
			③たまごみ会議	
			④その他市民協働の取り組み	
			その他ごみ処理に関し必要な事項	①広域処理体制の確立
				②条例等の法制度の整備
				③国・東京都への要請
		④関係業界に対する要請		
		⑤職員の資質の向上		
		⑥廃棄物に関する災害対策		
		⑦デジタルトランスフォーメーションの推進		